

近世佛教 史料と研究 総目録

創刊号 (一九六〇・六)

創刊に際して……………同人 一同
 近世寺院史への視角……………竹田 聴洲
 「木仏之留」について……………千葉 乗隆
 黒江の異計(上)……………蘭田 香融
 近世宗学史研究ノート——
 天文日記国別引得(一)……………北西 弘

第二号 (一九六〇・一〇)

近世仏教教団の構造的変化……………柏原 祐泉
本願寺教団の形態を中心として
 近世真宗教団の本末構造……………千葉 乗隆
 時宗末寺帳について……………藤井 学
 天文日記国別引得(二)……………北西 弘

第三号 (一九六一・一一)

「聖」たちと「妙好人」……………森 竜吉
加藤周一「親鸞」を所縁として
 近世真宗教学の成立と展開をめぐる一考察……………石田 慶和
 蘭田 香融

黒江の異計(下)……………蘭田 香融
近世宗学史研究ノート——

史料紹介・金地日録(一)……………三浦 圭一
 天文日記国別引得(三)……………北西 弘

第四号 (一九六一・一六)

惺窩・羅山の排仏帰儒をめぐる諸問題……………今中 寛司
 近世本願寺教団の確立過程……………児玉 識
主として中国地方の場合について——

中世末北陸における真宗寺院の

本末関係について……………大桑 斉

地方史から見た真宗寺院(一)……………巨 節
振津国橋下郡吹田村を中心として——

金地日録(二)……………三浦 圭一

第二巻第一号 (一九六一・一〇)

『本願寺通記』について……………千葉 乗隆
 郡誌を利用せる廃仏統計資料……………伊東多三郎
 寺院の金融事業について……………友松 円諦
 ヨーロッパにおいて仏教の研究が進められてきたことなど……………山口 益
 真宗学史上における親鸞と蓮如……………蘭田 香融
 三浦 圭一

金地日録(三)……………三浦 圭一

第二巻第二号 (一九六二・四)
 近世浄土宗史の諸問題……………大橋 俊雄
 長崎三唐寺の成立……………李 献璋
 地方史から見た真宗寺院(2)……………巨 節
振津国橋下郡吹田村を中心として——

金地日録(四・完)……………三浦 圭一

第二巻第三号 (一九六二・一〇)
 「捨世」の系譜……………伊藤 唯真
近世浄土宗における——

近世初期の御堂衆について……………籠谷真智子
 『石田梅岩』を読んで……………蘭田 香融
 史料紹介・清水寺別当記(一)……………千葉 乗隆
 天文日記国別引得(四)……………北西 弘

第三巻第一号 (一九六三・一〇)
 江戸時代における万福寺の修理費について……………平久保 章

日溪法霖の生涯と業績……………蘭田 香融
近世宗学史研究ノート——

地方教団史に関する一考察……………鈴木 宗憲
湖北下坂不断光院をめぐって——

清水寺別当記(二)……………千葉 乗隆
 天文日記国別引得(五)……………北西 弘

第三巻第二・三合併号 (一九六五・六)
 終刊の辞……………同人 一同

近世村落における神宮寺の景観と人事について……………竹田 聴洲
丹波国桑田郡山園郷——

真宗寺院の近世的形態……………児玉 識
聖俗分離と均等寺院の成立をめぐる——

近世初期真宗寺院の土地経営……………大桑 斉
能登本誓寺文書に関する覚書——

寛文年間水戸藩廃仏毀釈について……………圭室 文雄
開基帳の検討を中心として——

『蓮如上人塵拾鈔』について……………新行 紀一
 書評・吉田久一編『仏教』……………森 竜吉
 清水寺別当記(三・完)……………千葉 乗隆

バックナンバーは僅少ですが、全部そろいます。
 定価各巻とも五〇〇円(合併号のみ一〇〇〇円)です。なるべく一括購入を望みます。申込先は、左記の通りです。京都市下京区花屋町西洞院西人永田文昌堂(振替京都九三六)